

日米メコン電力パートナーシップ(JUMPP)アクションプラン

2023年4月

1. 経緯・概要

- JUMPPは、メコン地域の持続可能で、質の高い電力セクター開発を日米が連携して支援するために、2019年に立ち上げられた取組。日本、米国、カンボジア、ラオス、タイ、ベトナムの電力専門家による会議を通じて、メコン地域の支援ニーズを聴取した上で、今後数年の技術協力メニューを掲載したアクションプランを取りまとめ、2023年4月6日にフレンズ・オブ・メコン高級実務者会合（於：ビエンチャン）の場で発表。
- アクションプランは次の3分野を支援の柱としつつ、具体的な技術協力案件を提示。
 - ① クリーンエネルギー統合
 - ✓ グリッド強靱性及び信頼性向上
 - ✓ 再生可能エネルギーの供給量増大
 - ✓ 再生可能エネルギー導入のため系統運用及び需給制御
 - ✓ 炭素中立化に向けたエネルギー移行支援及び変動性再生可能エネルギー導入に伴う供給信頼度確保
 - ② 市場開発及び投資
 - ✓ 電力市場運用にかかる能力強化
 - ✓ 電力市場開発支援、シングルバイヤーから競争的電力市場への移行支援
 - ✓ メコン地域の電力取引市場の長期的な開発支援
 - ③ 地域の電力取引
 - ✓ 規制・技術水準の互換性向上
 - ✓ 国際連系線の新規拡大と既存送電能力の最大限活用（メコンパワープール）
 - ✓ 長期的な系統計画及びエネルギー計画策定のための域内調整支援
 - ✓ 相互利益のある二国間・多国間取引の経済評価

2. 日本による技術協力案件例

- タイ：ASEAN各国向け第三国研修（配電システムのスマート化）
- カンボジア：炭素中立社会に向けたクリーンエネルギー転換ロードマップ策定プロジェクト
- ラオス：炭素中立社会に向けた統合的エネルギーマスタープラン策定プロジェクト
- ベトナム：変動性再生可能エネルギー大量導入に向けた電力系統運用能力向上プロジェクト